

日本共産党

もりやひろ子

だれ一人 とり残さない

「年金生活ですが、額が減って暮らしが先細りになってきました。医療費負担が2倍になって、薬を飲むのも減らそうかなと思っている」というご意見をいただきました。

なぜ、これほど高齢者がいじめられるのでしょうか？高齢者も、事業者も、シングルマザーも、苦しんでいる人を見過ごすことができません。その声をひとつひとつ県政に届け、確実に実現してきました。



プロフィール

●1949年東京生まれ。東京女子医大病院附属看護学院、富士短期大学経済学部通信課程卒●埼玉商工団体連合会婦人部協議会元会長●川越社会保障推進協議会元事務局長／川越市議会議員1期、埼玉県議会議員2期●現在／党埼玉西部地区委員、党川越市副委員長／川越市木野目在住

●国民健康保険税を引き下げます

●重度障害者医療費無料制度

65歳以上で障害者となった人にも適用を

65歳以上でペースメーカーを入れたり、透析が必要になった場合などにも適用すべきです。

県政を動かして

●保健所の保健師38人、保健医療関係県職員55人増員

コロナ禍で超長時間勤務に苦しむ県職員の声を取り上げました。

●県立盲学校(埴保己一学園)の施設改善・川越特別支援学校増築

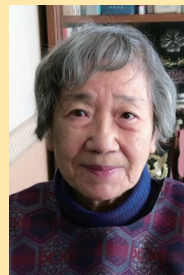
盲学校寄宿舎の雨の吹き込む渡り廊下の改善を約束させました。

●小川町の太陽光発電乱開発追及

現地視察を繰り返し、県議会では初めて追及しました。



川越市内の業者を訪問して



松尾美保子 (南古谷在住)

年金暮らしになったら病院通いが増え、昨年10月から負担が2倍になって困っています。

自宅で介護生活もできなくなった時に、施設に入りたいと考えていますが、安心して充実した施設がふえると思います。もりやひろ子さんには、私たちの暮らしの維持・改善にがんばってほしいと思います。

岸田政権による 軍事費2倍化・5年間で43兆円 大軍拡・大增税ストップ!

